

リーディング DX スクール事業報告

校長 藤井 武

本校は、昨年11月から文部科学省指定のリーディング DX スクール事業パイロット校として、生成 AI 活用の研究実践に取り組んできました。この事業は、情報活用能力の向上や個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指したもので、本校の実践は市内のみならず県内でも先進的な取り組みとして注目されました。

今年度は、以下の取組を行いました。

- * **教職員研修**：外部講師を招き、生成 AI の基礎知識や実践的な活用方法を学びました。
- * **保護者研修会**：PTA と連携し、保護者の皆様に実際に体験していただきました。
- * **生徒説明会**：生徒たちに生成 AI の仕組みや活用上の注意などについて説明しました。(2・3年生のみ)
- * **校内授業研究会**：全職員が参加し、生成 AI を活用した授業を実践し、その成果と課題を共有しました。

これらの取組を通して、以下の成果を上げることができました。

- * **教職員の理解度向上**：教職員が生成 AI の教育への可能性を理解し、積極的に活用しようとする意欲が高まりました。
- * **生徒の興味・関心の向上**：生徒たちが生成 AI に興味を持ち、積極的に学習に取り組めました。
- * **授業改善**：生成 AI を活用することで、個別最適な学びや協働的な学びを実現する授業づくりを進めることができました。
- * **指導計画・評価法の改善**：生成 AI を活用した学習を評価するための指導計画や評価法を検討しました。
- * **実践的な学びの提供**：生徒たちが実際に生成 AI を活用して課題に取り組むことで、今までとは違った、より深い学びを得ることができました。

今年度の成果を踏まえ、来年度はさらに以下のような取り組みが課題と考えています。

- * **生成 AI の活用範囲の拡大**：より多くの教科や領域で生成 AI を活用し、授業改善を進めていきます。
- * **校内研修の充実**：教職員のスキルアップを図るため、校内研修を充実させます。
- * **研究成果の共有**：市内外の学校と連携し、研究成果を共有し、共に学び合い、教育の質の向上を目指します。
- * **保護者との連携強化**：保護者の皆様への情報提供や意見交換の機会をさらに充実させ、理解と協力を得られるよう努めます。

リーディング DX スクール事業パイロット校としての取り組みは、本校にとっても大きな挑戦でした。しかし、教職員が一丸となり、生徒が真摯に取り組み、保護者の皆様のご協力をいただいた結果、多くの成果を上げることができました。今後も、生成 AI を活用した授業改善を推進し、生徒の学びをさらに充実させ、「未来を創る力」を育んでいきたいと考えております。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。（学校 HP の新着情報にも関連記事を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。）

【市民の会・PTA 合同作業 花壇アート】

2月8日（木曜日）に市民の会の皆様・PTAの皆様で3月13日に行われる卒業式に向けて、中庭の花植えを行いました。卒業生の門出を祝うように、色鮮やかなパンジーが花壇いっぱいに植えられ、とても華やかになりました。3年生も卒業式まで残すところ20日となりました。これからはいっそう飯山満中学校での残りの日々を大切にしてください。



【クエストカップ2024全国大会進出！起業家部門 優秀賞受賞「コーポレートアクセス」】

この度、2学年の1チームが全国大会進出ファーストステージを果たし、2月25日（日）に明治大学中野キャンパスで発表します。この大会は、2005年から始まった日本最大級の探究学習の祭典です。教育と探求社のプログラム「クエストエデュケーション」に取り組む中高生が、成果を社会に発信する教育プログラムです。19回目となる今大会のテーマは「@じぶん」です。「企業探究」「進路探究」「起業家」「社会課題探究」「地域探究」の5部門計8プログラムが3日間の日程で開催されます。第一線で活躍する方々が、作品を審査、講評しますので、ぜひ頑張ってください。

2月22日（木）には、全校生徒向けに、オンラインで発表しました。

【優秀賞】

作品タイトル：「小指んびん守るんるん」

チーム名：^{かど}角と書いて^{つの}角と読む



←学校の3Dプリンターで実物大模型を作成。色塗りして完成です

—校内発表会の様子—

